

多様な性と私たち

SOGIEインクルーシブな学校環境づくりのために



グラウンドルール

本日の予定

グラウンドルール
自己紹介・団体紹介
学校環境に関する国内での取り組み
多様な性とは
ReBitメンバーの話
SOGIEインクルーシブな学校環境づくり
アライ先生になろう
まとめ

安心・安全な場をともにつくるための グラウンドルール

- 撮影、録画、録音はしないでください。
- この場には様々な「ちがい」を持った人がいます。
それぞれの「ちがい」を尊重しましょう。
- 言いたくないことは、言わなくて大丈夫です。
- 自分の発言に対して、それを聞く人がどう感じるかを
想像しながら、ワークに参加してください。
- 発言は「私」を主語にしてください。
「ふつうは」「みんなは」「日本人は」など、大きい主語に注意してください。

安心・安全な場をともにつくるための グラウンドルール

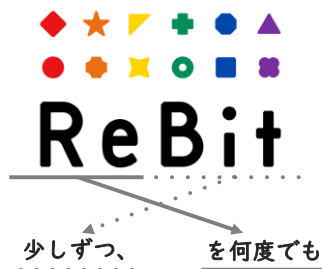
● 情報の取り扱いに注意してください

講師を含めて「この場だから」話していることもあります。この場で話している人が、日常生活のすべての場面でそのことを公にしているわけではありません。今日この場で知り得たプライバシーに関わる情報を、勝手に人に広める、SNSに個人情報がかかる形で書き込む、などの行為はしないように注意してください。また、たとえ自分の話の中であっても、他の人のプライバシーに関わる情報について触れる場合は、本人の同意なしに勝手に共有しないようにしましょう。

● 質問歓迎です

質問するときは「相手や周囲の人に対して攻撃的・否定的になっていないか」に配慮して、みんなが安心してすごせる空間にしましょう。

団体紹介



繰り返すことで、社会が前進してほしい。

団体紹介

LGBTQもありのままで未来を選ぶよう 「学ぶ・働く・暮らす」ための事業を展開



1. 教育

- 学校/行政でLGBTQ研修を提供 (1234回/18万人)
- 行政や教科書会社と資料制作・監修



2. キャリア

- LGBTQへキャリア支援 (9000人)
- 企業や支援者研修 (451回/6.3万人)



3. 福祉、行政伴走

- 日本初、LGBTQフレンドリーな就労移行支援事業所(障害福祉サービス)
「ダイバーシティキャリア」運営

※2023年3月時点

目指したい風景

人はそれぞれにちがいがあること、
性のあり方も多様であることを前提として、
それらのちがいを尊重しあえる社会。

LGBTQであってもなくても
安心できる学校・会社・地域にしたい

教育事業

LGBTQを含めた全ての子どもたちが尊重しあえる学校を

正しい情報を届けるしくみづくり



子どもたちや先生たちへ
授業や研修を届ける



現場の先生による実践を
教材で後押し

教育事業

LGBTQを含めた全ての子どもたちが尊重しあえる学校を

子どもの状況を明らかにするための調査



生徒1.2万人
教職員1500人調査



メモ

学校環境に関する 国内での取り組み

国内での取り組みが進んでいる

自治体

- 条例や計画策定
- パートナシップ制度
- 相談や居場所
- LGBTQの職員を包摂した職場づくり

企業

- LGBTQのお客様を包摂したサービス提供
- LGBTQの社員を包摂した職場づくり

学校

- 教職員の理解促進
- 教科書に性の多様性が記載
- ※ 保健などを中心に
全社の教科書に記載
- 小学校：2024年度～
- 中学校：2025年度～

学校での取り組みが努力義務に

LGBT理解増進法

(性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律)

SOGIの多様性に寛容な社会の実現に資することを目的とし、
2023年6月に成立。

国および地方公共団体	学校、地域、家庭、職域等での理解促進、相談体制整備等
事業主	職場内の理解促進、就業環境の整備、相談機会の確保等
学校	教育・啓発、教育環境の整備、相談機会の確保等

学校における取り組みの変遷

- 2014年：文部科学省による全国調査 → 606件の対応事例
- 2015年：文部科学省が全国の小中高校及び特別支援学校に、性的マイノリティの子どもへの対応配慮を求める[通達](#)
- 2016年：教職員向け[周知資料](#)が公開
- 2017年：「[いじめの防止等のための基本的な方針](#)」に、2022年：「[生徒指導提要](#)」に性的マイノリティに関する学校における対応について記載された。
- 2023年[内閣府LGBT理解増進法](#)で、学校にSOGIEに関する教育・啓発、教育環境の整備、相談体制の整備が求められた。
(参考) [文部科学省「性的マイノリティに関する施策」](#)

多様な性とは？

SOGI（ソジ）とは？

すべての人の性のあり方を
人権として考える際に使われる言葉

性的指向

Sexual **O**rientation

性自認

Gender **I**ntity

性表現（Gender **E**xpression）を加えて
SOGIE（ソジー）とも

セクシュアリティとは

性のあり方（セクシュアリティ）は
いくつかの軸で考えることができます

法律上の性

戸籍など、法律上で割りあてられた性別
日本では、男・女の2通り

性的指向

Sexual **O**rientation

どのような性別の人が、恋愛感情や
性的欲求の対象となるか、ならないか

性自認

Gender **I**ntity

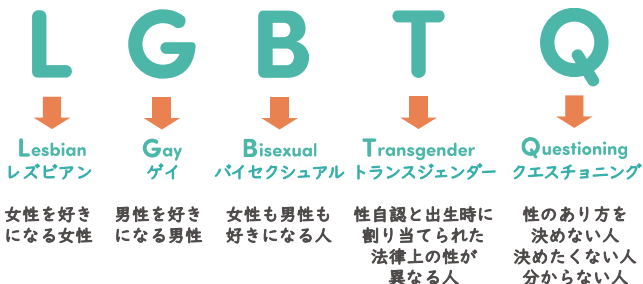
自分の性別をどのように捉えているか

性表現

Gender **E**xpression

どのような服装、振る舞い、
言葉づかいなどをするか

LGBTQとは



✗ ホモ・レズ・オカマ・オネエ等は、多様なSOGIEのあり方を
揶揄する言葉。見聞きすることで傷つく人がいるため使わない。

その他のセクシュアリティ

Pansexual パンセクシュアル

性的指向に相手の性別が関係ない人

Aromantic/Asexual アロマンティック/アセクシュアル

他者に対して、恋愛感情/性的欲求をもたない人

X-gender Xジェンダー ・ Non-binary ノンバイナリー

性自認が男女どちらでもない/どちらかだけではない人

ReBitでは、セクシュアルマイノリティの総称の一つとして「LGBTQ」を使用しています。

「マジョリティ」にも名前があります

「LGBTQではない人」「ふつうの人」などではなく、「シスジェンダー、ヘテロセクシュアル」といいます

シスジェンダー

性自認と、出生時に割り当てられた法律上の性別が一致する人

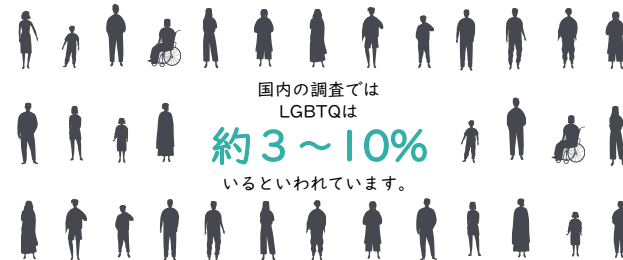
ヘテロセクシュアル

異性を好きになる人



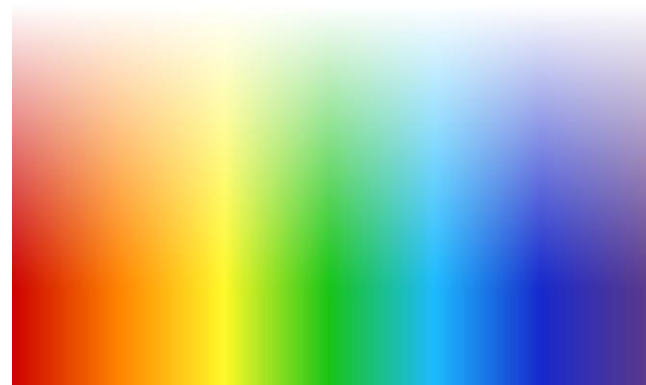
誰もが多様な性を構成する一員です。

LGBTQはどれくらいいる？



「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム（2018）「大田市市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」。
日本労働組合総連合会（2016）「LGBTに関する職場の意識調査」。株式会社LGBT 総合研究所（2016）「LGBTに関する意識調査」。
電通ダイバーシティ・ラボ（2018）「LGBT 調査2018」。日高直樹・三菱東京UFJ共同参画センター「フレンドみえ」（2018）
「多様な性と生活についてのアンケート調査」より

性のあり方は人の数だけ



カミングアウトとアウティング

カミングアウト

本人が自分の意思で、自発的に、セクシュアリティを公にすること。カミングアウトするかどうか、いつ、誰に、どこまでいうかは、本人の意思を尊重する。英語の「coming out of the closet（クローゼットから出てくる）」が語源。カミングアウトしていない状態を「クローゼット」という。LGBTQがなぜクローゼットの中にいなければならないのか、そして、なぜわざわざカミングアウトする必要があるのか、その背景にある社会構造に着目する。

アウティング

本人の同意なく、セクシュアリティを第三者に暴露すること。学校、職場、家庭、地域などでの居場所をなくしてしまうことにもつながりかねず、時には命に関わることもある重大な人権侵害となる。悪気がなくても、善意であっても、アウティングになってしまうこともあるので、情報共有の際には注意が必要。

メモ

SOGIEインクルーシブな環境とは

- どのような性的指向・性自認・性表現であっても、すべての人の性のあり方が包摂・尊重されているため、心理的安全性が保障されている環境
- 一人ひとりが「自分らしくいられる」「居場所がある」「味方がいる」と実感できる環境
- 多様な性のあり方が想定された設計となっているため、わざわざ相談しなくても、安心して利用できる環境

メモ

SOGIEインクルーシブな 学校環境づくり

ワーク①

ある日、あなたが子どもの近くにいると、男子Aが、同級生の男子Bと男子Cから、次のようにいわれている場面を見かけました。

B「お前さ、男なんだから、たまには男らしいところ見せてみろよ！」
C「やっぱ“〇〇ちゃん”（Aの名前にちゃんづけ）には難しいか？ 笑」
A「えー笑」

Aは、いわゆる女子を対象としたアニメや男性アイドルがすきなようで、女子と一緒にいる様子もよく見かけます。

このような場面に遭遇したとき、あなたはどのような対応や声かけをしますか？ A本人への対応、BとCへの対応、周囲の子どもへの対応をそれぞれ検討しましょう。

安心・安全な場をともにつくるための グラウンドルール

- 言いたくないことは、言わなくて大丈夫です。
- 自分の発言に対して、それを聞く人がどう感じるかを想像しながら、ワークに参加してください。
- 発言は「私」を主語にしてください。
「ふつうは」「みんなは」「日本人は」など、大きい主語に注意してください。
- たとえ自分の話の中でであっても、他の人のプライバシーに関わる情報について触れる場合は、本人の同意なしに勝手に共有しないようにしましょう。

メモ

次ページからのポイント解説は
まだ見ないでください。

ワーク①のポイント

- セクシュアリティは外見や行動の特徴から判断できるものではないため、勝手に決め付けない。
- いじめやかからかいをうけている子が当事者とはかぎらない。いじめやかからかいをしている子ども、周囲の子どもの中にも当事者がいるかもしれない。
- いじめやかからかいを本人のせいにはしない。「男らしくない男の子」「女の子っぽい男の子」だから問題なのではない。どんな理由でもいじめやかからかいがあってはならない。
- SOGIEに関するいじめやかからかいは人権に関することであると認識する。もしSOGIEに関するいじめやかからかいの場面に遭遇したら、先生は他の人権課題と同様、見すごさずに毅然と対応する。

ワーク①のポイント

- 先生が全体に対して正しい情報を発信することで、当事者が必要な情報にアクセスできるようになる。また、カミングアウトをする側だけでなく、カミングアウトをされる側の子どもが、知識不足から不用意に相手を傷つけてしまうことも予防できる。
- カミングアウトする人も、カミングアウトされる人も、相談窓口につながるができるよう、普段から先生が情報提供しておく。
- 気になる行動があった集団だけでなく、全体で学習の機会をつくる。あらゆるSOGIEを尊重できるようになるための指導を普段から意識する。SOGIEに関するいじめやかからかいの「被害者」をつくらないと同時に、「加害者」をつくらないためでもある。この教育実践は、日々の学校生活の中で直接子どもたちと関わる先生たちだからこそできる。

子どもたちは友人や周囲からカミングアウトや相談を受けている

学校における性的指向・性自認に係る取り組み及び対応状況調査（2022年度）

カミングアウトや相談を受けた経験

カミングアウトや相談を受けた経験

小学生：4.4% ▶ クラスに1人
(n=410)

中学生：8.8% ▶ クラスに2-3人
(n=5803)

高校生：10.9% ▶ 9.2人に1人
(n=5053)

LGBTQについて相談できる場所や人を「知らない」



小学生では1クラスあたり1人、中学生では1クラスあたり約3人が友人や周囲からカミングアウトやLGBTQに関する相談を経験。一方で、相談できる場所や人を84.3%は知らない。

※アンケート概要：＜回収期間＞2022年6月1日～2023年3月31日 ＜調査方法＞当該年度中に回答収集＜回収割合＞教職員157回答、生徒12,162回答 ＜調査実施主体＞認定NPO法人ReBit

メモ

ワーク②

あなたは、ある子どもからカミングアウトされました。

- ① カミングアウトされたあなたが意識すべきことは何でしょうか？
- ② この子どもはなぜあなたにカミングアウトをしたのでしょうか？
- ③ 本人の希望をかなえたり、問題を解決したりするために、他の先生との情報共有や保護者との連携が必要になることもあります。その際、どんなことに注意すればよいでしょうか？

ここでは、この子どものセクシュアリティは限定しません。どのようなセクシュアリティの子どもにも共通することを検討しましょう。

メモ

メモ

メモ

次ページからのポイント解説は
まだ見ないでください。

LGBTQユースは4年以上 1人で悩んでいる

LGBTQの子ども・若者調査2022

セクシュアリティにかんする平均年齢

セクシュアリティの認知・開示

セクシュアリティを認知
14.3歳

初カミングアウト
18.5歳

4.2年

セクシュアリティを認知してから4.2年、誰にも伝えたり相談できなかった。

※アンケート概要：＜回収期間＞2022年9月4日～30日 ＜調査方法＞SNS等インターネットで募集
＜回答数＞2670 ＜調査実施主体＞認定NPO法人ReBit

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

不安や恐れを感じる一方で 相談をしたい／情報がほしい

LGBTQの子ども・若者調査2022

Q.「セクシュアリティが、周囲とちがうかもしれない」と初めて気づいたとき、どう思いましたか？



セクシュアリティを認知したとき、LGBTQユースの
69.9%が不安を感じ、54.9%が相談をしたい/情報がほしかった

※アンケート概要：＜回収期間＞2022年9月4日～30日 ＜調査方法＞SNS等インターネットで募集
＜回答数＞2670 ＜調査実施主体＞認定NPO法人ReBit

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

子どもから相談・カミングアウト があったとき

受け止める

対話する



情報共有の範囲を
確認する

専門機関につなげる
※別紙「相談先リスト」参照



ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

おもな相談窓口・支援団体

- よりそいホットライン 0120-279-338
(24 時間無料電話相談、4 番がSOGIに関する相談)
- SNS 相談「生きづらびっと」
- プライドハウス東京レガシー
「ラップアラウンド・サポート」
(LGBTQ や「そうかもしれない」と感じている 24 歳以下の子ども・若者に向けた相談支援プログラム)

※地域にも、相談窓口や支援団体があります。

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

情報共有が必要になるかもしれないとき

命の危険があるとき



周囲に危害がおよぶ
おそれがあるとき



進路に影響があるとき



医療行為が必要なとき



保護者から相談があったとき

学校の方針を
共有する



多様な性に関する
情報提供をする



一緒に見守りつつ
勇気づけ・安心させる



専門機関につなげる
※別紙「相談先リスト」参照



おもな相談窓口・支援団体

- よりそいホットライン 0120-279-338
(24 時間無料電話相談、4 番がSOGIに関する相談)
- SNS 相談「生きづらびっと」
- プライドハウス東京レガシー
「ラップアラウンド・サポート」
(LGBTQ や「そうかもしれない」と感じている 24 歳以下の
子ども・若者に向けた相談支援プログラム)

※地域にも、相談窓口や支援団体があります。
本人はもちろん、相談を受けた人も利用できる
相談窓口や団体もあります。

メモ

ワーク③

学校がSOGIEインクルーシブな環境でない場合、**学校生活において子どもたちが経験しやすい「SOGIEに関する困りごと」**には、どのようなものがあるでしょうか。

各場面における困りごとを考えてみましょう。

- 日常生活における困りごと（授業、休み時間、学校行事 等）
- クラス、学校環境、人間関係における困りごと

メモ

別紙のワークシートをご用意ください

ワーク③ 学校生活において子どもたちが経験しやすい「SOGIEに関する困りごと」

日常生活における困りごと (授業、休み時間、学校行事 等)	クラス、学校環境、人間関係における 困りごと

 ReBit

メモ

次ページからのポイント解説は
まだ見ないでください。

子どもたちの困りごとに関する声

トイレに入れず、一日中我慢していた。小学4年か5年の頃に、一度漏らしてしまったことがある。どうしても我慢できない時は、授業中に離席するか保健室に逃げ込んでいた。

ライフプランを書く時に、みんなはどこかで結婚を書いていたが、自分は「一生をともにしたいと思う人と、法律上の結婚ができないかもしれない」と考えて、将来像に結婚を入れていいのが困った。でも、みんな書いているから書くしかなかった。

以前、同性の子から「好きだ」と言われた時、話をにごしてしまった。多様な性について、自分はなんで知らなかったんだろう、もっと早くから簡単にでも知れていたらよかったのに、とても後悔している。

学習合宿といった宿泊をとまう行事の時、入浴が大浴場となっていて、やむなく合宿を休むことにした。

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

子どもたちの困りごとに関する声

見た目と名前の性別が違うから、初対面の先生からフルネームで呼ばれた時、「お前、男なのか女なのか？」と授業中に何度も聞かれたり、クラスメイトに笑われたりした。

修学旅行など泊まりのイベントがあると必ず「恋バナ」になった。恋愛をすることが当然であるように振る舞い、自分も好きな人を言わなくてはいけない雰囲気があって、その場にあわせて嘘をつかねばならなかった。

写真撮影でフォトグラファーの方から、女性らしいポーズをとるようにみんなの前で何度も指示され、体が固まってしまった。それを見ていた周りの人も一気に笑い始めた。記念写真に写っても大丈夫な姿勢であれば、性別規範に沿ったものでなくてもよいことにしてほしい。

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

SOGIEに関する困りごと ～その背景にあるもの～

- 性的マイノリティであるかどうかにかかわらず、SOGIEに関する困りごとは、だれもが経験しうる
- 性的指向や性自認は、外見や行動の特徴ではっきりと判断できるものではないが、それゆえに周囲による決めつけも起きやすいため、本人が困難を経験しやすくなる
- 相談やカミングアウトをしている人は可視化されやすいため、必要なケアやサポートの対象となりやすいが、そうではない人（カミングアウトをしていない／これからしようとしている人）はその存在が周囲に想定されておらず、「いないもの」とされやすいため、SOGIEインクルーシブでない環境においては、より困難を経験しやすくなる

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

メモ

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

ワーク④

学校環境をSOGIEインクルーシブにするために
「先生ができる工夫」にはどのようなものがあるでしょうか。

以下の2つの場面で、できる工夫を書き出してみましょう。

- 授業実践としてできること（自教科でできる工夫）
- クラスづくり・学校環境づくりとしてできること

メモ

別紙のワークシートをご用意ください

ワーク④ 学校環境をSOGIEインクルーシブにするために「先生ができる工夫」

授業実践としてできること (自教科でできる工夫)	クラスづくり・学校環境づくりとして できること

 ReBit

メモ

次ページからのポイント解説は
まだ見ないでください。

授業実践としてできる工夫

(1) 性の多様性について直接伝える

(例) 保健

「思春期になると、誰もが異性に関心をもつようになります。」

→「教科書にはこうあるけれど、同性に関心をもつ人もいるし、恋愛をしない人もいるよ。それは何もおかしいことではないよ。」

クラスづくり・学校環境づくり としてできる工夫

(1) 呼名・名簿・声かけ

(例) 呼名は「さん」で統一するか、本人が希望する名前で呼ぶ

(例) 男女混合名簿順での整列にする

(例) 性別と、特定の能力や属性を結びつけないような声かけをする

「女子集合！」

→「整理整頓が得意な人（手先が器用な人）集合！」

「男子手伝って！」

→「力持ちの人（背が高い人）手伝って！」等

授業実践としてできる工夫

(2) よりSOGIEインクルーシブな授業内容にする

(例) 国語

市販の漢字ドリル「父は毎日仕事で帰りが遅い。」

→ 例文がステレオタイプを強化していないか点検し、オリジナルの漢字ドリルを作成する

クラスづくり・学校環境づくり としてできる工夫

(2) 困りやすい場面に気づき、SOGIEインクルーシブにする

(例) 健康診断

・身長体重の数値は読み上げずに、記入するだけにする

・男女別の時間帯の他、個別対応が可能な時間帯も用意し、希望すれば理由は言わずに、だれでも利用できることを事前に周知する

・困りごとや要望について、事前に相談できることや相談対応の担当者を、児童生徒だけでなく保護者等を含め、事前に全体に周知しておく

クラスづくり・学校環境づくり としてできる工夫

(2) 困りやすい場面に気づき、SOGIEインクルーシブにする

- ・ 宿泊をとまなう行事：別時間での個別入浴／自室シャワー使用の許可／性自認に沿った部屋割りの許可／全員が個室に宿泊できる施設を選択
- ・ 男女の更衣室内に、パーテーションで区切った個別スペースを用意
- ・ 体育祭・文化祭：競技の性質によって、男女混合の種目もつくる
- ・ 合唱コンクール：性別によらず、希望するパートで参加してもよいとする
- ・ プールの授業を見学する場合は、レポート提出による評価とする
- ・ マナー指導は男女別での表記や説明をやめ、全員共通の内容で伝える（外部業者や外部講師にも、学校の方針を事前に共有しておく）

アライ先生になろう

研修内容を実践につなげるために

ここでは、日々の授業実践と学校環境づくりにおいて、「先生ができる工夫」として、現場の先生による実践事例の一部をご紹介します。

お手元の配布資料の巻末には、子どもたちの生の声とともに、より多くの具体的な実践事例を掲載しています。

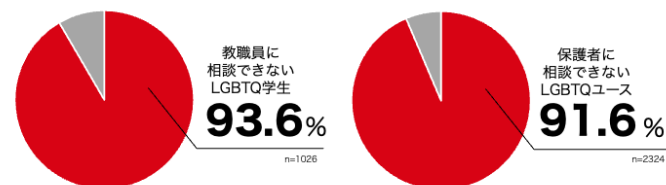
これらの資料を参考にしながら、今回の研修後も引き続き、学年団や同じ教科の先生同士で、ぜひ話し合いの場を設けてみてください。

「これってSOGIEインクルーシブかな？」という気づきを、職場の同僚と共有することから始めてみてください。

LGBTQユースの9割以上は 保護者や教職員に相談できていない

LGBTQの子ども・若者調査2022

教職員や保護者へ相談できるか



※アンケート概要：＜調査期間＞2022年9月4日～30日 ＜調査方法＞SNS等インターネットで調査
＜回答数＞2670 ＜調査実施主体＞認定NPO法人ReBit

アライ (Ally) とは

アライ

LGBTQの理解者・支援者・味方のこと。

レインボー

6色（赤・橙・黄・緑・青・紫）のレインボーはLGBTQのシンボルカラー。身につけることで、アライであることを表明できる。



アライとしてできること

- 性別を限定しない表現をする
彼氏・彼女 → 恋人・パートナー
夫・妻 → 配偶者・パートナー・お連れ合い
お父さん・お母さん → 親御さん・保護者・ご家族
そちらの女性の方 → 青のストライプシャツの方 等
- 異性と恋愛して、結婚して、子どもをもつだけではない、多様なライフプランがあることを前提とする
- 多様な家族のかたちがあることを想定する

アライとしてできること

- 「大きい主語」に注意する
例) 普通は・みんなは → 私は
例) ゲイの人って・日本人って → ○○さんって
- 「自虐」のつもりでも誰かを傷つけているかもしれないことを自覚する
- あらゆる多様性を尊重しようとする

インクルーシブな言い換えの例

「このお手紙をお父さんお母さんにわたしてね」
→ 「このお手紙を保護者の方にわたしてね」

「昨日の試合すごかったよね！」
→ 「昨日のサッカー日本代表戦、私は夢中で見たんだけど、見た人いる？」

「みんなGWはどこにいったの？」
→ 「連休中はどんなふうにごしてた？」

まとめ

改訂新版LGBTってなんだろう？ 自認する性・からだの性・好きになる性・表現する性



主な対象：
教職員・保護者など
子どもに関わる大人

各書店・ネット通販で
ご購入いただけます

「ふつう」ってなんだ？ LGBTについて知る本



主な対象：
小学校高学年～

各書店・ネット通販で
ご購入いただけます

みんなで知りたいLGBTQ+（全5巻）



主な対象：
小学校中学年～

各書店・ネット通販で
ご購入いただけます

みんなちがってみんなステキ LGBTの子どもたちに届けたい未来



みんなちがって
みんなステキ
—LGBTの子どもたちに届けたい未来—
高橋うらら ReBit inc



主な対象：
小学校低学年～

各書店・ネット通販で
ご購入いただけます

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

Ally Teacher's Tool Kit



小学校高学年で
授業しよう編



安心な学校を作ろう編

中学校で
授業しよう編



学校・教育委員会の皆さまには
無料で製品パッケージを配布しています。

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

キットを使用した先生たちの声

先生用ハンドブックを他の職員にも配布して、まず大人が勉強する
ところから始めました。映像やワークシートのおかげで、授業が
組み立てやすかったです。

学年の全クラス分を取り寄せられたので、担任による授業が同時実施
できました。知識や指導経験の有無といった各教員のスキルによらず、
全員が同じレベルで授業できるのがとても良かったです。

土曜日の公開授業で使用させていただいたので、保護者の方も真剣に
映像を見てくださいました。児童も真剣な雰囲気を取り組めました。

生徒から相談されることが増えていましたが、実は多様性について
教えることに抵抗感がありました。でも「自分はありのままでいいと
わかった」といった声を子どもたちから聞くことができ、とても充実
した時間になったと思います。授業ができて良かったです。

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

Ally Teacher's School



ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

オリジナルレインボーグッズ



クリアファイル



ステッカー



マスキング
テープ

STORESにてご購入いただけます

レインボー・セーフガーディング



NIJIIRO DIVERSITY
認定NPO法人虹色ダイバーシティ

ReBit

最新情報はReBitメルマガで配信中

ReBitメルマガ

メールアドレス*

お名前（登録名）*

メルマガ登録のきっかけ*

研修

その他2

教員・教育関係者

登録

学校で役立つ最新情報を
月2回程度配信中です。
ぜひご登録ください。



まとめ

- すべての子どもにとってインクルーシブな環境をつくる、その方法の一つとして多様な性の視点があります。
- 「一部のマイノリティのため」ではなく「みんなのため」に多様な性を前提とした環境づくりに取り組みましょう。

ご清聴ありがとうございました

 **ReBit** 認定特定非営利活動法人ReBit

 **ReBit** @ReBit All Rights Reserved 禁転載

日常生活での困りごとに関する声

一人称を「僕」とか「俺」にすると「男の子みたいだからやめて」と言われたり、「女の子なんだからズボンばかりじゃなくてスカートも履きなさい」と言われたりするのがいやです。

見た目と名前の性別が違うから、初対面の先生からフルネームで呼ばれた時、「お前、男なのか女なのか？」と授業中に何度も聞かれたり、クラスメイトに笑われたりした。

トイレに入れず、一日中我慢していた。小学4年か5年の頃に、一度漏らしてしまったことがある。どうしても我慢できない時は、授業中に離席するか保健室に逃げ込んでいた。

ふだんの更衣室や身体測定でも、着替えは一人でしたいです。

 **ReBit** @ReBit All Rights Reserved 禁転載

参考資料① 子どもたちの声 ～学校におけるSOGIEに関する困りごと～

 **ReBit** @ReBit All Rights Reserved 禁転載

校内での日常生活における困りごと

先生や環境によるもの

- 名簿上の性別による男女別の呼名、男女バランスが考慮された班分け
- 性別役割分担意識（ジェンダーバイアス）に基づく声かけ
- 男女別トイレしかないため、性自認と一致する性別のトイレも、性自認と異なるの性別のトイレも、安心して使用できない
- だれでもトイレはあるが、児童生徒が使用できない（と思っている）
- 男子トイレの小便器が、隣の人や外からも見える状態である
- 健康診断で、名簿上の性別をもとに勝手に分けられてしまうことで、性自認と異なる性別での扱いを受けるのが苦痛
- 検査のために、薄着や上半身裸になって待機しなくてはならない
- 身長や体重の数値を読み上げられてしまう

 **ReBit** @ReBit All Rights Reserved 禁転載

日常生活での困りごとに関する声

中学時代、女の子みたいになりたくて髪を伸ばしていた時、結構伸びてきたので結んで過ごしていたら、「男は髪を結ぶな」と先生に呼ばれて、みんながいる前で怒られた。

プールに入る時、女子用の水着が嫌で仕方なく、いつも理由をつけて見学していた。ある時先生に怒られ、結局水着を着ることになったが泣いてしまった。みんなの前で泣いたことも、「なんで泣くの？」と聞かれて本当のことが言えず「水が苦手だから」と嘘をついたことも、すべてが辛かった。

ライフプランを書く時に、みんなはどこかで結婚を書いていたが、自分は「一生をともにしたいと思う人と、法律上の結婚ができないかもしれない」と考えて、将来像に結婚を入れていいのか困った。でも、みんな書いているから書くしかなかった。

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

日常生活での困りごとに関する声

インターネットを見て、自分と同じような人がたくさんいると知れたおかげで、カミングアウトすることに抵抗もないのですが、それでもたまに変な反応をされたり、間違った知識で何か言われたりしたこともあって少し傷ついていました。今日のような授業を通して、正しい知識が広まってくるといいなと思いました。

授業を受けて、LGBTQの人はまわりに言っていないだけでたくさんいるのかもしれないと感じた。私の何気ない言葉で傷つけてしまったかもと考えると、申し訳ない気持ちでいっぱいになった。

以前、同性の子から「好きだ」と言われた時、話をにごしてしまった。多様な性について、自分はなんて知らなかったんだろう、もっと早くから簡単にでも知れていたらよかったのにと、とても後悔している。

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

校内での日常生活における困りごと

先生や環境によるもの

- 校則における男女別の規定がある
- 性自認と異なる性別の制服・体操着・水着等を着なくてはならない
- 学用品の色やデザインがあらかじめ男女別で指定されているため、性別に関係なく、希望する色やデザインを選ぶことができない
- 異性と恋愛し、結婚し、子どもをもつことが前提となっていることが多いため、多様なライフプランに触れることができない

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

校内での日常生活における困りごと

他の児童生徒によるもの

- SOGIEに関するいじめやかからかい
- アウティング
- カミングアウトに対する否定的な反応
- SOGIEの多様性を尊重しない言動を見聞きする
例) 傷つく人がいる可能性に気づかずに「ホモネタ」を話してしまう
例) 普段から男女でわかれることが多いため、「異性といっしょに遊んでいるとおかしい」と思われてしまう

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

学校行事での困りごとに関する声

学習合宿といった宿泊をとまなう行事の時、入浴が大浴場となっていて、やむなく合宿を休むことにした。

中学の時、自分は本当は嫌だったが、運動会で組体操をしなくてはならなかった。しかも上半身裸だったので、とても辛かった。

写真撮影でフォトグラファーの方から、女性らしいポーズをとるようにみんなの前で何度も指示され、体が固まってしまった。それを見ていた周りの人も一気に笑い始めた。記念写真に写っても大丈夫な姿勢であれば、性別規範に沿ったものでなくてもよいことにしてほしい。

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

学校行事での困りごとに関する声

バレンタインにチョコを作り、男子に渡す文化があったが、周りとは温度差を感じていた。他の人はみんな楽しんでいたから、自分も参加するものだとは思い込んでいたが、「恋愛」の意味を理解しないまま参加していた。もしあの時「恋愛をしない人もいる」と知っていたら、チョコ作りやラッピングを無理にしたりせず、別のことに時間やお金を使っていたと思う。

修学旅行など泊まりのイベントがあると必ず「恋バナ」になった。恋愛をすることが当然であるように振る舞い、自分も好きな人を言わなくてはいけない雰囲気があって、その場にあわせて嘘をつかねばならなかった。

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

学校行事における困りごと

先生や環境によるもの

- 宿泊行事：大浴場での入浴／名簿上の性別をもとにした部屋割り
- 体育祭・文化祭：男女別種目しかない／男女でペアになる／男子は応援団・女子はチア／SOGIEに関する排他的な出し物がある
- 合唱コンクール：名簿上の性別によるパート分け
- 面接練習・マナー指導：性別によって、指導内容に差がある
- 式典：男女別で指定された服装／男女別の整列や呼名／男女別の「呼びかけ」

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

学校行事における困りごと

他の児童生徒によるもの

- 行事やイベントの内容が、異性愛を前提としたものになっている
 - ・ 宿泊行事：「恋バナ」で嘘をつかなければならない
 - ・ 卒業式：プロフィールカードの「好きな異性のタイプ」の項目を無理やり書かなければならない
- SOGIEが尊重されない状況が起こると予想されるため、学校行事に「参加しない」という選択をせざるをえない

ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

参考資料② 先生ができる工夫 ～全国のアライ先生による実践事例～

授業実践としてできる工夫

特別な授業ではなく、普段の授業内でできること

- 保健「思春期になると、誰もが異性に関心をもつようになります。」
→「教科書にはこうあるけれど、同性に関心をもつ人もいるし、恋愛をしない人もいるよ。それは何もおかしいことではないんだよ。」
- 家庭科「何歳で結婚したいですか？子どもは何人ほしいですか？」
→「結婚をしたいかどうか、できるかどうかは人それぞれです。
子どもをもつかもたないか、もつ場合の方法もさまざまです。」
- 男女でデザインを分ける必要がないものは、性別で分けられていない学用品や性差のないデザインが豊富な業者を選択する

授業実践としてできる工夫

- 国語
→漢字ドリルの例文がステレオタイプを強化していないか点検して、オリジナルの漢字ドリルを作成する
- 算数・数学
→文章題に登場する人の名前に、性別を限定しない名前も織り交ぜる
- 英語
→性別を限定しない敬称「Mx.」や三人称単数の「They」についても説明する
- 理科
→生物の授業で同性に求愛行動をする動物もいることを紹介する
- 社会
→公民の授業で婚姻の平等について取り上げる

クラスづくり・学校環境づくり としてできる工夫

- ホームルーム等で、日常的に多様な性に関する情報を話題にする
- おたより等で、他の先生、保護者、地域の方々にも情報を発信する
- 呼名は「さん」で統一するか、本人が希望する名前で呼ぶ
- 男女混合名簿順での整列にする
- 班分けは男女バランスではなく、人数バランスで行う
- 男女以外で分ける（例：窓側と廊下側、奇数と偶数、3つに分ける 等）
- 性別と、特定の能力や属性を結びつけないような声かけをする
・「女子集合！」→「整理整頓が得意な人（手先が器用な人）集合！」
・「男子手伝って！」→「力持ちの人（背が高い人）手伝って！」等

クラスづくり・学校環境づくり としてできる工夫

- 教室フロアのトイレが利用しにくい場合、教職員用トイレを使用できるようにし、全体に周知する
- トイレは休み時間の他、必要な時に行ってよいことを全体に周知する（例：授業中・給食の準備時間等）
- だれでもトイレに「だれでも使える」旨のポスターを掲示し、周知する
- 健康診断では、身長体重の数値は読み上げずに、記入するだけにする
- 男女別の時間帯の他、個別対応が可能な時間帯も用意し、希望すれば理由は言わずに、だれでも利用できることを事前に周知する
- 困りごとや要望について、事前に相談できることや相談できる担当者を、児童生徒だけでなく保護者等を含め、事前に全体に周知しておく

 ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

クラスづくり・学校環境づくり としてできる工夫

工夫として提案できること

- 宿泊をとまなう行事：別時間での個別入浴／自室シャワー使用の許可／性自認に沿った部屋割りの許可／全員が個室に宿泊できる施設を選択
- 男女の更衣室内に、パーテーションで区切った個別スペースを用意
- 体育祭・文化祭：競技の性質によって、男女混合の種目もつくる
- 合唱コンクール：性別によらず、希望するパートで参加してもよいとする
- プールの授業を見学する場合は、レポート提出による評価とする
- マナー指導は男女別での表記や説明をやめ、全員共通の内容で伝える（外部業者や外部講師にも、学校の方針を事前に共有しておく）

 ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載

クラスづくり・学校環境づくり としてできる工夫

工夫として提案できること

- 入学前説明会や保護者会等で、SOGIEに関する校内での取り組みを保護者全体に周知する
- 必要に応じて相談ができることや相談に対応できる担当者を周知する
- 進路選択の判断材料として、進学先の学校や就職先の企業におけるSOGIEに関する取り組みについて、全体に周知しておく
- 児童生徒や保護者から相談があった際、適切に対応できることはもちろん重要だが、あらゆるSOGIEを想定した制度設計をすることで、「わざわざ相談しなくても利用できる環境づくり」を目指していく

 ReBit @ReBit All Rights Reserved 禁転載